



だれの子とも
ころさせない

2021年は政権交代への幕開け！！

今の「国民投票法改正案」は、安倍前首相お得意の買収、虚偽、誇大広告をやり放題に出来る欠陥法案です。

- ① CM規制(賛否両論の公平な時間、紙面、チラシ)
- ② ネットメディアのフェイクニュース処置
- ③ 最低投票率の規定
- ④ 外国人の寄付・投票運動の規制

等々、公平性を求める課題が沢山あります。問題の多い「国民投票法改正案」を憲法審査会で内容で無く時間的に十分審査したから多数決で決めようとしているのが自民党、公明党、日本維新の会です。今年の秋までには行われる衆院議員選挙で、日本国憲法の持つ「国民主権」・「基本的人権」・「平和主義」を守ろうとする政党が半数近くを獲得し、やりたい放題の「国民投票法改正案」を公平な「国民投票法改正案」に変えるように運動することが必要です。

平城ニュータウン九条の会としても、支持政党の枠を超え衆議院奈良県1区に立憲野党候補の一本化を支持し小選挙区での勝利を目指し運動することが、憲法九条を守ることになると信じます。



憲法カフェ

日時：2021年3月27日(土) 13:30
場所：右京ふれあい会館(予定)
テーマ：日米地位協定 続編
講師：池田順作(生駒九条の会)

奈良市九条の会交流会と共催で高の原駅前9の日アクション



2020年12月9日近鉄高の原駅で平城ニュータウン九条の会と奈良市九条の会交流会、蟻の会が「憲法9条を守ろう」と街宣を行いました。今回は、前日12月8日、開戦記念日という事もあり、実際に奈良でも空襲を体験されたなら・つり人九条の会の大木稔さんに「一瞬で家屋や命が奪われる恐怖と再び戦争は許してはいけない」と語っていただきました。下校している高校生や大学生は、体験談を聞きながら手渡されたチラシを読んでいます。沖縄の小学生が詠んだ「へいわってすてきだね」の詩と長谷川義史さんの絵によるチラシの受け取りも良く150枚のチラシを配りました。シール



投票「憲法9条に自衛隊を明記しようとしています」に反対が6割。特に高校生が俺たちに関わってくる問題ととらえていて「俺たち行かない、死なない！」と答える高校生もいました。小学生が「戦争に行く！」と笑いながら答えたので、「戦争ってのはそんな笑いながら言うもんじゃないのよ。今、おじさんが戦争の事を語っているから聞いてきたら」というと真顔になったそうです。大人の責任で憲法9条を守ることの使命を思いました。蟻の会の方々による「青い空」「we shall overcome」などの歌声

と力強い太鼓の響きが、第二次世界大戦で亡くなった方々への鎮魂歌となりました。そして、「平和を守るという決意が世界中に広がれ」と参加した27名は、署名やシール投票、チラシ配布、演奏やトークなどで訴えました。



高の原駅で語る大木稔氏

奈良でも空襲があった！

(下記文は2020年12月9日 高の原駅前9の日街宣時に語って頂いたものです。)

大木 稔 (奈良在住。彫刻家、奈良県美術人協会会員。工房「佐保」主催、なら・つり人九条の会代表)



画：大木稔氏

大阪を空襲したB29の大編隊が、多大の損害を与えた後、昼前に帰路奈良市上空を通過した。空襲警報下だったと思うが、なぜか母と私と弟が家の中にいた。その時、表の方で「落下傘が降りてくる」という声が聞こえ、三人は表の道路に出た。落下傘は見つからなかったが、その時、北側の旧県立奈良中学校校舎上空から「ゴオー」という轟音と共に、超低空でB29一機が飛来し、巨体が我が家の上空を通過した瞬間、突然、屋根越しに真っ赤な火の玉が「ザー」という音を立てながら、私たちの頭上をかすめて前の田んぼに落下し、赤黒い火柱をあげて燃え上がった。私たち三人は背中に油脂飛沫を浴

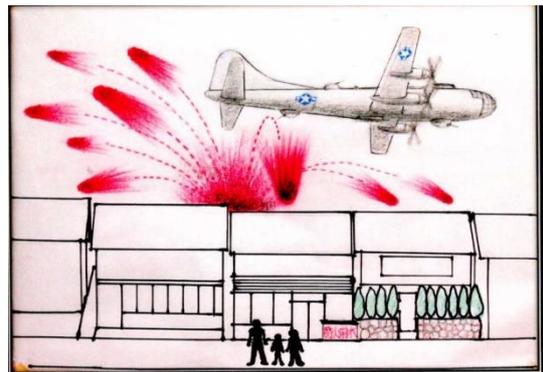
1945年、私は国民学校4年生だった。

大阪が空襲を受けた夜は、生駒山の向こうが夕焼けのように真っ赤に染まり、翌朝、周囲が焼け焦げた紙片がひらひらと舞い降りてきた。

六月一日の午前、

びて、慌てて家に駆けこんだ。もう少し弾道が短かったら、三人とも火だるまになって即死するところだった。鎮火後、直径4mの大穴があいていた。

普通、焼夷弾は投下後、空中で小型の六角筒にバラけて飛散するが、超低空で投下したため、塊のまま裏通りの平西米穀店を直撃し、そこで別れて火の玉となった焼夷弾が火花のように飛散した。平西さん宅の7歳の女の子は全身に大やけどを負い、近くの沢井病院に担ぎ込まれたが命を落とした。北側の奥本さん宅も、庭石



画：大木稔氏

にはねかえった六角筒弾で家屋が全焼し、着物に火が付いたお母さんは防火用水で消し止めたものの、足と腕に大やけどを負い、8歳の娘さんも額にやけどを負われた。火の手は佐保国民学校の相撲場をはじめ、十数カ所が上がったが、住民や奈良中学生らのバケツリレーで何とか消し止められた。しばらくして、警防団の方たち20名程が、掛け声をかけ、隊列を組んで到着されたが、その頃にはほぼ鎮火していた。この空襲を機に、私たちもその恐怖から空襲警報のたびに、父が作ってくれた頑丈な防空壕に入るようになった。なぜB29一機だけが、何の軍事施設もない佐保川町に投下したのか疑問が残るが、おそらく大阪空襲で投下し忘れた焼夷弾の処分のため、投下したのではないかと推測される。

1月9日 15:00~16:00は「9の日」高の原駅前アクションです。
皆様のご参加をお待ちしています。

1月27日 10:00より生協会議室にて世話人会です。世話人でなくても、参加していただきご意見・活動等についてお聞かせ下さい。